

バッハ盤を聴く(11)(HP 収載)
—最新アナログシステムでの試聴(11)—

1. 始めに

前報(10)に引き続き、バッハのアナログ盤を聴き直していきます。

2. バッハのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、今回は LINN LP-12 で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。

今回は、次のレーベルを聴いてみます。

Victor VX-125

J.S.バッハ 音楽の捧げもの BWV1079

ヘルムート・ヴィンシャーマン指揮バッハゾリステン

Victor LS2099 (モノーラル盤)

J.S.バッハ Goldberg 変奏曲

ワルダ・ランドウフスカ (チェンバロ)

3. バッハのアナログ盤の試聴結果

Victor 盤は、ZANDEN のリストでは、EMI、R、第4時定数 **Low** となっています。音楽の捧げものは、1972 年来日時の録音です。EMI、R、第4時定数 **Low** で聴き始めましたが、チェンバロの音像が大きいので、N にしてみました。音が散漫になりましたので、元の R に戻しました。チェンバロだけでなく、フルートなども同様に、個々の楽器を近接で捉えているようです。演奏は、しつとりと落ち着いた正統派のバッハの演奏です。

Goldberg 変奏曲は、近代チェンバロの復刻とチェンバロ音楽の復興に尽力したランドウフスカの演奏です。モノーラル盤ですが、EMI、R、第4時定数 **Low** で聴き始めましたが、古い録音ながらチェンバロは中央に定位し、あるときはしつとりと、あるときは力強く、緩急自在に演奏していることが分ります。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)の結果をトレースでき、

レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上